



OKAZUDAISAN

だいさんかわら版

安全、安心、そしてきれいな町創り

平成31年
1月号

新年の挨拶に代えて

あらためて防災を考える

岡津第三町内会 会長

北島良三

平成30年を象徴する漢字は「災」でした。

振り返ってみれば、1月の草津白根山の噴火、2月の北陸福井豪雪、4月の島根県西部地震、6月の大阪北部地震と続き、7月には200名以上の犠牲者を出した平成30年7月豪雨、さらに逆走台風の12号、夏から秋にかけて上陸した3つの巨大台風、そしてとどめは、最大震度7を記録した9月の北海道胆振東部地震、まさに「災い」の1年だったと云えると思います。

これ程までに、多くの自然災害に見舞われた平成30年でしたが、私たちの住む町は、そうした大きな災害の直撃を受ける事はありませんでした。しかし、これは、やはり、「偶然の産物」と考えるべきだと思います。

地震に関して云えば、私達の住む横浜周辺では、1923年の関東大震災以降、約100年に亘って大きな地震が発生していません。最新の発表では、今後30年以内に横浜市域で震度6弱以上の地震の発生する確率は82%と高い数値です。(政府の地震調査委員会2018)

一方、いっこうに歯止めのかからない地球温暖化を考えると、今後も常識を覆すような巨大台風や集中豪雨が継続的に発生する可能性は高く、私たちの住む横浜だけが例外であり続けることはない、そう考える方が正しいように思います。

「天災は忘れた頃にやってくる」と云う有名な言葉がありますが、これからは「天災は、忘れる前にやってくる」そんな言い回しが通用しそうな状況になっていくように思います。いずれにしても、日常の中で、常に自然災害へ立ち向かう覚悟が必要な時代になった、と云う事だと思います。

ところで、防災について、自助、共助、公助の3つがよく云われています。自助とは自身や家族の力で、共助とは近隣同士の力で、そして公助とは、国や自治体の力で、それぞれに災害に立ち向かっていく事を云います。

この3つの中で、最も大きな力を持つのが公助、つま

り自衛隊や消防、警察などの行政の実行部隊による救助救援活動です。しかし、これら部隊は大がかりな組織であるがゆえに、小回りは利きません。それに当然の事ですが、人命救助が優先されます。

そう考えると、自助と共助が課題として上がりますが、私達が災害に向けて、まず最初にすべきは「自助」に向けた努力だと思います。もちろん、共助の重要性は理解できます。しかし実際に大きな災害に見舞われた時、まず自分と自分の家族の安全や安心が確保されて初めて、近隣への援助、協力ができるのでないでしょうか。

自助とは、災害によるダメージに対し、個人や家族が対抗するための具体的な活動を起こす事だと思います。

例えば、地震に強い家作りや安全な室内の確保、食料や飲料水、日常必需品などの十分な備蓄、避難場所の確認や災害時の家族の連絡方法などの情報管理です。

すでに相応な対策をとられている方も多いと思いますが、あらためてこの機会に見直して頂ければと思います。

尚、1月27日(日)に地域総合防災訓練が実施されます。こうした訓練に参加する事も、重要な自助の一環であると思います。寒い時期ではありますが、是非とも、ご参加して頂ければと思います。



ご参加下さい!

地域総合防災訓練

○日時:平成31年1月27日(日) 午前9:30~

○会場:岡津小学校 運動場

【第三町内会の集合時間】

*西田地区 忠魂碑公園 9時

*まほろば地区 永明寺別院 9時5分

*川向地区 岡津町内会館前 9時10分



・西田地区、まほろば地区は、それぞれの集合場所に集合後、町内会館へ移動、川向地区と合流、全員で岡津小学校へ避難して下さい。(防災ヘルメット着用)

(訓練内容等は、後日回覧致します)

・岡津小学校は、この地域の防災拠点に指定されています。防災拠点は、横浜市内1か所以上で震度5強以上の地震が発生した時に開設されます。(岡津小学校の場合は、阿久和川の氾濫の危険性がある時も開設)

・防災拠点は、震災により家の倒壊やその危険がある人々が一時的に避難生活を送る場所であり、食糧・水・生活物資、人命救助用の機材等が用意されています。

Memories of 2018

平成30年も、いろいろ楽しい思い出がいっぱい
ありました。今年も、良い年になりますように

第29回夏祭り、盛大に開催！

8月18日（土）、第三町内会恒例の「夏祭り大会」が開催されました。7月以降、不安定な天候が続き、昨年の夏祭りが豪雨で中断された事もあって、天候面で大きな不安がありましたが、祭り当日は、最高気温も28℃と、穏やかで過ごし易い天気になりました。

午後5時、泉美野太鼓の勇壮な響きと共に、夏祭りがが始まりました。早速、模擬店からは、焼鳥や焼きそばの美味しそうな香りが流れ、行列ができました。

来場者が集い始めた6時半、いよいよ盆踊りが始まり、櫓から響く太鼓の拍子に合わせて、集いの橋の回りに踊りの輪が広がりました。

その後も子ども会による「アイスの配布」や「打上げ花火」と云った恒例のイベントが続き、会場は歓声と笑顔で溢れ、最後の「お楽しみ抽選会」が終わるまで、たくさんの方が楽しい時間を過ごされたようでした。

3ヶ月に及ぶ事前活動、特に8月に入ってからのお会場整備や設営の力仕事、当日の模擬店や各種イベントの運営、そして翌日の撤去作業と、役員や班長さんをはじめ、たくさんの町内の皆様の応援を頂きました。本当にご苦労さまでした。そして、ありがとうございました。



今回の夏祭りでは、従来から変更した点が3つありました。第1は、太鼓櫓を1mほど低くした点、第2は、芳銘板を小型にした点、第3は、芳銘板に張るのし紙を、従来の筆書きからプリンター印刷にした点です。

いずれも、役員の高齢化及び総数の減少に対応したもので、準備や当日の作業負担を軽減させるためのものでした。特に、第1と第2については、安全を確保する意味もありました。終了後の反省会でも、反対意見はなく、来年以降も継続する事に決まりました。

連合運動会 総合第3位に！

10月7日（日）に行われた第51回中川連合町内会大運動会で岡津第三町内会は第3位となりました。ここ数年5～6位で推移していたので、久々の快挙になりました。成績に寄与したのは一般玉入れ、綱引き、リレーそして小学生のリレー、綱取りでした。ただ最大の勝因は、各世代がそれぞれに活躍した事だったと思います。

町内から、約100名の方が参加、爽やかな秋晴れの下、元気一杯に、いい汗を流しました。



一年の〆括りは、やっぱり餅つきだ

12月2日（日）、町内会今年最後のイベント「餅つき大会」が「集いのまほろば」行われました。

早朝7時、もち米を蒸す作業からスタート。用意されたモチ米は60kg＝約俵1俵分。そしてこのモチ米を、30名程のスタッフが蒸して、こねて、ついて、丸めていく訳です。どう見ても大変な作業ですが、「あだこうだ」と云いながら、それはそれで楽しそうでした。試食やチビっ子の餅つき体験も終始盛況で、販売でも400パックのお餅を売上げました。

尚、餅つきの途中、地元選出の衆議院議員の坂井学さん



がお見えになり、餅つきの輪の中に入って頂きました。

皆様のご協力で、本年最後のイベントを無事終了する事ができました。ほんとうにありがとうございました。



2019年も、平和で穏やかな
1年でありますように…